

東京国際映画祭  
グランプリ & 最優秀女優賞 W 受賞!

わたしの武器は、愛と絵筆



# ニーゼと光のアトリエ

心理療法の常識をくつがえし、愛と芸術で人を癒したある女医の真実の物語



Director/Screenwriter:Roberto Berliner Cast:Julio Adrião,Flavio Bouraqui,Fabricao Boliveira,Fernando Eiras,Luciana Fregolente,Charles Fricks,Georgiana Góes,Zé Carlos Machado,Augusto Madeira,Bernardo Marinho,Simone Mazzer,Glória Pires,Felipe Rocha and Roberta Rodrigues Producer:Rodrigo Latier Associate Producers:Luiz Carlos Mello, André Horta and François Wolf Executive Producer:Lorena Bondarovsky Finishing Producer:Anna Julia Werneck Screenplay:Flávia Castro, Mauricio Lissovsky, Maria Camargo and Chris Alcazar Final Screenplay:Patricia Andrade, Leonardo Rocha and Roberto Berliner Screenplay Consultant:Bernardo Horta Collaboration:Luiz Carlos Mello, Gladys Schincariol, Lula Vanderlei, Leonardo Domingues and Gina Ferreira Cinematographer:André Horta Editor:Pedro Bronz, edt. and Leonardo Domingues Production Designer:Daniel Flaksman Costumes:Cris Kangussu Production Direction Henrique Castelo Branco Camera Operation:Marcio Menezes Sound:Leandro Lima Original Soundtrack:Jaques Morelenbaum Sound Design and Mixing:François Wolf Image Monitoring:Ely Silva Visual Effects Supervisor:Robson Sartori

監督・脚本:ホベルト・ベリネル プロデューサー:ホドリゴ・レチエル 出演:クロリア・ピレス シモーネ・マゼール ジュリオ・アドリアオン クラウジオ・ジャボランジー ファブリシオ・ボリヴェイラ ホネイ・ヴィレラ  
2015年/ブラジル映画/ポルトガル語/109分/カラー/ヴィスタ 原題:Nise - O Coração da Loucura (Nise - The Heart of Madness) 公式ホームページ: <http://maru-movie.com/nise.html> © TvZero

コロコロ・動かす・映画社 ○ 配給作品

ただありのままを受け入れることができたなら、  
ここはおのずと回復する力をもっている。  
なにもしなくても大丈夫。  
ニーゼのように、ただそれを信じさえすれば。

田口ランディ (作家)

患者の絵や彫像はなんと神々しいことか。  
ベリネール監督は、筆や土に彼らの魂が宿る  
瞬間をこそ描きたかったのだろう。

最相葉月 (ノンフィクションライター・「セラピスト」著者)

完璧な映画だ！

患者を演じる役者たちは殊に素晴らしい。  
見事なテンポにユーモアをも加え、  
最高レベルのエンターテインメントに到達している。

ブライアン・シンガー (『X-MEN』シリーズ監督・第28回東京国際映画祭 審査員長)

アイスピックが最新の治療道具としてもはやされた1940年代。  
心理療法の常識に屈することなく、アートや動物を介して人を癒した実在の女医、  
ニーゼ・ダ・シルヴェイラの気高き魂の物語。

1944年、ブラジル。ひとりの女医が精神病院の門をたたく。彼女の名はニーゼ。  
そこでは毎日のように電気ショックなどの暴力的な治療が行われていた。患者を人  
扱いしない光景を目の当たりにし、ニーゼは言葉を失う。最新治療にしか興味のない  
男性医ばかりの院内で、彼女が身を置けるのは、ナースが運営する作業療法部門  
だけだった。そこでニーゼは患者に絵の具や筆、粘土などを与えて、彼らが自由に  
表現できるよう病室をアトリエに作り変える。少しずつ開かれてゆく患者たちの心  
の扉。しかしそんな中、ある事件が起こる。

『セントラル・ステーション』や『シティ・オブ・ゴッド』など、ブラジル映画の  
傑作に新たな作品が加わった。ブラジル国内はもちろん、国際的にも名高いリオデ  
ジャネイロ国際映画祭で観客賞を受賞し、昨年東京国際映画祭ではグランプリと  
最優秀女優賞をW受賞した本作である。ドキュメンタリー出身の奇才、ホベルト・  
ベリネール監督が構想に13年、撮影期間4年をかけて丁寧に作り上げた。ニーゼを  
演じるのはブラジルを代表する名女優、グロリア・ピレス。伝説の女医を情熱的に  
演じている。



2017年 9月10日(日) 三郷市文化会館 小ホール

■開場 13時30分 開演 14時 全席自由席

■一般 前売り 1000円 当日 1500円 高校生以下・障害者(介助者1名) 700円

■チケット販売 三郷市文化会館・草加市文化会館 問合せ先 090-8053-2206 (小見山)

主催「“癒し”としての自己表現展 in 草加」・共催 南埼玉病院・後援 三郷市、三郷市教育委員会  
協賛 キピタキとわらしの会、くおーれの風、こむたに、さかの医院、パティオ、ふらっと草加、ほっとする会、  
山猫くらぶ、ラ・ポルタ

【アクセス】 三郷駅北口より 徒歩 15分、

バス利用 三郷駅北口より 早稲田循環「文化会館東」下車すぐ バス時刻表 12:03、26、43 料金 180円

